

第3回 岩木川流域治水協議会

青森河川国道事務所

～水害からみんなで津軽の人々の「いのちとくらし」を守る防災減災の推進～

■概要

第3回岩木川流域治水協議会では、組織改正に伴う幹事会構成員の規約改定が承認され、R2年度末に策定した「岩木川水系流域治水プロジェクト」など減災に関する各構成員の考えを共有し、今後岩木川流域が一体となった治水対策を推進していくための意見交換を行いました。



WEB会議の状況

■開催内容

開催月日：令和3年7月7日（水）

開催場所：青森河川国道事務所 2階 災害対策室（WEB会議）

構成員：青森市長、弘前市長、黒石市長、五所川原市長、つがる市長、平川市長、藤崎町長、板柳町長、鶴田町長、中泊町長、大鰐町長、田舎館村長、青森県農林水産部長、青森県県土整備部長、青森県危機管理局長、北奥羽土地改良調査管理事務所長、津軽森林管理署長、森林整備センター東北北海道整備局長、青森地方気象台長、青森河川国道事務所長、岩木川ダム統合管理事務所長

議事概要

- 1) 規約の改定
- 2) 流域治水に関する話題提供
- 3) 意見交換

■ご意見・コメント等

- ・平川沿川地域住民からは伐木撤去の要望がある。
- ・首長、市町村防災担当及び地域住民の自主防災組織に対し、大規模出水対応セミナーを開催して欲しい。
- ・岩木川と十川に囲まれており、全域が浸水想定区域であり、大規模出水時は広域避難について検討が必要となる。近隣市町村・県・国の協力をお願いしたい。
- ・人口減少、高齢化が進む中で自主防災組織の共助が重要であるため、全ての町内会で自主防災組織の設立ができるようにしていきたい。
- ・洪水用の避難階段を設置するだけでなく、「まるごとまちごとハザードマップ」の浸水深の看板を地域住民と一緒に設置するなど、住民意識の向上に協力していきたい。
- ・熱海市土砂災害の避難指示の出されていない事案に対し、市町村においては、土砂災害警戒情報が発令されたら、避難指示の発令という体制がとられているか再確認をお願いしたい。